

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月31日

計画の名称	浜見平地区における生活防災拠点としての利便性・安全性の向上（その2）												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	茅ヶ崎市												
計画の目標	浜見平団地の建替に伴い、緑地、道路の整備を行い、生活・防災拠点として安全・安心なまちづくりを行う。												

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	松尾川の緑道化整備に伴う満足度アンケートを通行者に対して実施（満足度:36.5%→70%）			
	松尾川雨水幹線の暗渠化及び緑道化を行い、通行者に対して整備に関する満足度アンケート調査を行う。	37%	50%	70%
2	左富士通り及び鉄砲道の電線地中化及び道路整備に伴う満足度アンケートを通行者に対して実施（満足度：35.4%→70%）			
	左富士通り及び鉄砲道の電線地中化および道路整備を行い、通行者に対して整備に関する満足度アンケート調査を行う。	35%	50%	70%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	－	－	浜見平地区住宅市街地総合整備事業	緑道化417m、電線地下埋設259m、道路整備555m	茅ヶ崎市	■	■	■	■	■	328		－	
											小計						328			
											合計						328			

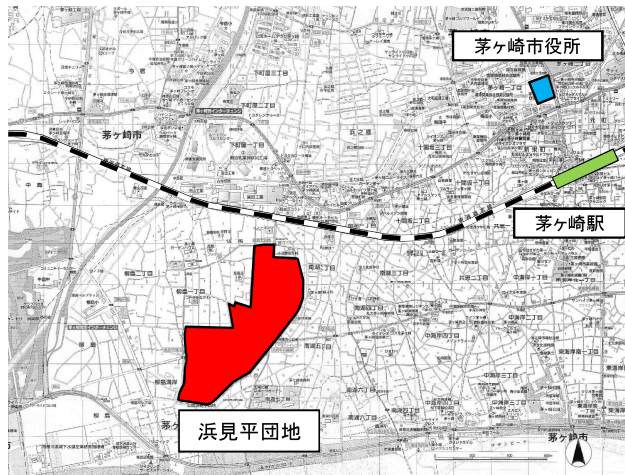
事後評価			
○事後評価の実施体制、実施時期			
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
本事業の所管課である拠点整備課において、事業の数値目標の達成状況や事業効果の発現状況の検証及び要因の分析を実施した。		令和3年3月	
		公表の方法	
		市公式ホームページにて公表	
○事業効果の発現状況			
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 浜見平地区の周辺は災害時のクラスター地域となっており、緑道化工事の施工が完了した箇所においては、有事の際に周辺から浜見平地区内への避難が可能になった。 ・ 商業施設（BRANCH茅ヶ崎2）から整備地区北側までの緑道化工事が完了し、子どもからお年寄りまで幅広い世代で賑わい、ゆとりのある歩行空間となっている。 ・ 鉄砲道の一部電線類地中化によって、通りの景観及び防災性・安全性の向上が図られた。	
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）			
○特記事項（今後の方針等）			
今後は、浜見平地区まちづくり計画及び第2次浜見平地区まちづくり整備実施計画に基づき、URによる浜見平団地建替え事業のスケジュールを勘案しつつ、松尾川雨水幹線の緑道化、電線類地中化工事、道路整備を適宜実施していく。			

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	松尾川雨水幹線の整備満足度の割合		
	最 終 目標値	70%	未施工エリアの近隣住民から高い満足度が得られなかったため
	最 終 実績値	68%	
2	電線類地中化及び道路整備満足度の割合		
	最 終 目標値	70%	左富士通りにおける電線類地中化工事の完了に加え、道路整備工事が実施されUR都市機構が整備したプロムナードと一体となった広々とした歩行空間が確保されたため
	最 終 実績値	71%	

(図面) 地域住宅支援

計画の名称	浜見平地区における生活防災拠点としての利便性・安全性の向上（その2）		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	茅ヶ崎市

【浜見平地区】



凡例	
	基幹事業
	団地建替範囲

